

一般質問



買い物を支える移動販売



早く利用しやすい施設に

本町における買物弱者や免許返納後の生活課題について町はどのように捉えているか。
町内で行われている移動



わきさか えいさく 議員
脇坂 英作

買い物弱者を支える仕組みについて問う
移動販売は町内約75%をカバーしています



販売の効果や今後の可能性をどのように考えるか。
町長 独居や高齢者夫婦のみの世帯増加、人口減少に伴う支え合い機能の低下などから様々な課題が生じていると認識しています。移動販売事業は、在宅での生活を続けられる限界点を高める取り組みと考えています。

人口の少ない地区では採算性やガソリン価格の上昇が課題となるが、現状をどう捉えているか。
町長 町内の移動販売は5事業者により約75%をカバーしています。料金徴収がある場合もありますが、利用意欲への影響は少なく、ガソリン高騰の相談もないため、社会貢献の理念に基

づき運営されていると受け止めています。
移動販売車のガソリン代補助について問う。
町長 補助は経済の仕組み上難しく、現時点で実施は考えていません。ただし移動販売は高齢者福祉計画の目標達成や地域交流・孤立防止の場となることに期待しています。

村岡中央公民館を中心とする地域の整備を区民会議を起こして準備しよう。エレベーター、図書室、展示スペース、調理室など



やまもと けんし 議員
山本 賢司

住民の知恵で村岡区民の拠点に
外部検討委員会も設置して検討します



の声がある。国道の合流点なので急速充電器の声、今でも調理室の配水が悪いの声も。
検討状況は、区民に示して、区民の願いが入れられるよう求める。
町長 村岡区中央公民館、村岡体育館は、昭和48年度整備で老朽化が著しく、村岡地域局も昭和63

年度改築ですが、一部は旧庁舎を利用しています。令和4年度村岡地域協議で“三施設の一体的整備が必要”との提言がありました。これを受けて副町長と関係課長で内部検討委員会を立ち上げ、人口推移、少子高齢化、町の財政等を踏まえ、時期、配置、規模と機能など、先進地視察を行い

検討中です。これらが固まり、方向が見えたら、公民館運営審議会や村岡区の各種団体で外部検討委員会を設置し、議員の示された内容についても協議します。
ワークショップ開催、意見聴取など全ての方が利用しやすい施設を目指します。